

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	再生医療の実現化プロジェクト		担当部局庁	研究振興局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～平成24年度		担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 板倉康洋		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	iPS細胞(人工多能性幹細胞)研究等の加速に向けた総合戦略改訂版(平成21年1月文部科学大臣決定)、iPS細胞研究ロードマップ(平成21年6月文部科学省)、新たなライフサイエンス研究の構築と展開(平成21年12月ライフサイエンス委員会)、新成長戦略(平成22年6月閣議決定)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月医療イノベーション会議)、今後の幹細胞・再生医学研究の在り方について(平成24年6月幹細胞・再生医学戦略作業部会)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界でも比類なき高齢化社会を迎えている我が国において、難病・生活習慣病に対し、これまでの医療を根本的に変革する可能性のある細胞移植・細胞治療等による再生医療について、iPS細胞等を用いた革新的な幹細胞操作技術や治療技術等を世界に先駆け確立し、その実現化を目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	iPS細胞は、再生医療・疾患研究等に幅広く活用されることが期待される我が国発の画期的成果であり、この研究成果を総力を挙げ育てていくため、iPS細胞等研究拠点(京大・慶応・東大・理研)と個別研究事業実施機関により、オールジャパン体制のもと戦略的に研究を推進。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	2,370	3,800	4,499	-	-
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	695	15	1,994	-	-
	計	3,065	3,815	6,493	-	-	
	執行額	3,030	3,794	6,377	-	-	
執行率(%)	98.9%	99.4%	98.2%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(29年度)
	iPS細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究への移行	成果実績	件	-	-	0	5
		達成度	%	-	-	0	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	課題数	活動実績(当初見込み)	件	15	20	26	-
						(26)	()
単位当たりコスト	245(百万円/課題)		算出根拠	245(百万円/課題) =(平成24年度執行額:6,377百万円)/(実施課題数:26)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
				※平成25年度から(独)科学技術振興機構事業へ移行			
	計						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)日本再興戦略(平成25年6月閣議決定)、健康・医療戦略(平成25年6月関係大臣申合せ)等において、再生医療は重点的に取り組むべき分野の一つとして位置づけられており、非常に優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・公募により実施課題を募集し、公正なプロセスで課題選考を実施している。 ・すべての委託契約について、業務計画書を精査し、適切に契約を行うとともに、単位当たりのコスト削減に努めている。 ・支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等を含む額の確定調査を実施している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・成果報告書の提出、研究機関へのサイトビジット等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について毎年度確認している。 ・事業目的に従って計画的に公募・選考を行うことにより着実に事業の推進を行っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>○明確な目標・計画に沿って国の委託事業として実施する政策課題対応型の研究開発であることから、支出先の使途の把握については、これまで厳格に実施している。具体的には、全ての委託契約について、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施している。</p> <p>○成果報告書の提出、研究機関へのサイトビジット等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について毎年度確認している。</p> <p>○本事業については、平成24年度をもって終了し、平成25年度から(独)科学技術振興機構事業「再生医療実現拠点ネットワークプログラム」へ移行した。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は、細胞移植・細胞治療等による再生医療について、iPS細胞等を用いた革新的な幹細胞操作技術や治療技術等を世界に先駆けて実現化することを目指す競争的資金であるが、平成24年度をもって終了し、平成25年度からは独立行政法人科学技術振興機構事業「再生医療実現拠点ネットワークプログラム」へ移行する。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0264	平成23年	0247	平成24年	0262

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省

6, 377百万円

諸謝金	1.0百万円	} を含む
職員旅費	2.3百万円	
委員等旅費	0.7百万円	
庁費	0.01百万円	

世界でも比類なき高齢化社会を迎えている我が国において、脊髄損傷、心筋梗塞、糖尿病等の難病・生活習慣病に対し、これまでの医療を根本的に変革する可能性のある細胞移植・細胞治療等による再生医療について、iPS細胞等を用いた革新的な幹細胞操作技術や治療技術等を世界に先駆け確立し、その実現化を目指す。

[公募・委託]

A. 再生医療の実現化プロジェクト
: 6, 321 百万円
大学・独立行政法人等

[公募・委託]

B. 再生医療の実現化プロジェクト支援
事業
: 52百万円

iPS細胞は、再生医療・疾患研究等に幅広く活用されることが期待される我が国発の画期的成果であり、この研究成果を総力を挙げ育てていくため、iPS細胞等研究拠点(京大・慶応・東大・理研)、個別研究事業実施機関により、オールジャパン体制のもと戦略的に研究を推進。

再生医療の実現化プロジェクトにおける課題採択における審査、研究の評価、事業の管理等の事務を支援。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国立大学法人京都大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	生細胞観察装置、細胞分離解析装置他	759			
消耗品費	試薬類等	533			
人件費	業務担当職員に係る事件費	182			
旅費	国内旅費、外国旅費	10			
その他	外注費、印刷製本費、会議費、通信運搬費	49			
間接経費		460			
計		1,993	計		0
B.独立行政法人科学技術振興機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務費	支援業務実施経費	52			
計		52	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人京都大学	京都大学iPS細胞研究統合推進拠点	1,993	企画競争	—
2	学校法人慶應義塾	再生医療の実現化を目指したヒトiPS細胞・ES細胞・体性幹細胞研究拠点	963	企画競争	—
3	独立行政法人理化学研究所	ヒト多能性幹細胞の分化誘導・移植の技術開発と技術支援のための総合拠点	678	企画競争	—
4	国立大学法人東京大学	ヒトiPS細胞等を用いた次世代遺伝子・細胞治療法の開発	343	企画競争	—
5	公益財団法人先端医療振興財団	再生医療の早期実現化と国際展開に向けた研究開発支援	187	企画競争	—
6	国立大学法人山口大学	培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発	171	企画競争	—
7	国立大学法人大阪大学	iPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発	169	企画競争	—
8	京都府公立大学法人	培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	130	企画競争	—
9	国立大学法人京都大学	疾患特異的iPS細胞樹立促進のための基盤形成	130	企画競争	—
10	学校法人慶應義塾	疾患特異的iPS細胞技術を用いた神経難病研究	126	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人科学技術振興機構	国家課題対応型研究開発推進事業等の実施に係る支援業務	52	企画競争	—